

2026/1/21  
盛岡地域県立病院運営協議会

# 岩手県立中央病院の概況



岩手県立中央病院 院長  
臼田 昌広

岩手県立中央病院

# 各種指標数値

DPC特定病院群

地域医療支援病院

地域がん診療拠点病院

救命救急センター【令和4年4月指定】

## 【令和6年度実績】

一日平均外来患者数 1,041人 (新患数 102人)

一日平均新入院患者数 43.6人

平均在院日数 10.7日

病床利用率 73.9%

紹介率 67.0%

(地域医療支援病院 紹介割合 76.8%)

( // 逆紹介割合 64.2%)

一日平均救急患者数 46.4人

一日平均救急車受入れ件数 20.2件

全麻件数 4,156件

手術件数 (手術室使用に限る) 5,500件

分娩件数 309件

医業収支 ▲12億5,397万円

## 【令和7年4月の状況】

病床数 685床

標榜診療科 29科

職員数 1,410名 (うち正規職員 1,050名)

医師数 209名

(正規129名、専門研修45名(兼務発令者除く)、  
臨床研修35名(歯科1名含む))

看護師数 678名 (うち正規職員 608名)

医療クラーク 65名



## ■ 基本理念

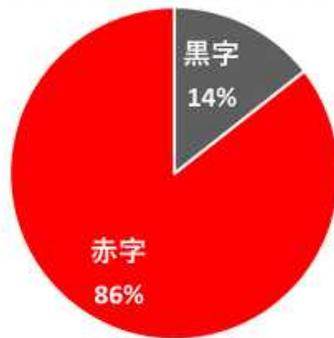
高度急性期医療を推進し、県民に信頼される病院

## ■ 行動指針

1. 良質な医療の提供
2. 次世代医療人の育成
3. 地域医療への貢献
4. 救急医療の充実
5. 災害医療の体制整備
6. 健全で効率的な病院運営
7. 魅力ある職場環境整備

# 参考) 自治体病院の経営状況

経常損失を生じた会員病院の割合は約9割



<参考>  
 医業損失を生じた会員病院の割合は95%

n=657 (会員の78%)

調査対象：会員841病院  
 回答数：687病院 (回答率：82%)  
 有効回答数：657病院 (全体の78%)

地域の役割別

	病院数	赤字	赤字割合
感染症指定医療機関 <sup>a</sup>	205	192	94%
へき地医療拠点病院 <sup>b</sup>	158	142	90%
災害拠点病院 <sup>c</sup>	266	251	94%
不採算地区中核病院 <sup>d</sup>	152	140	92%
救命救急センター <sup>e</sup>	100	93	93%

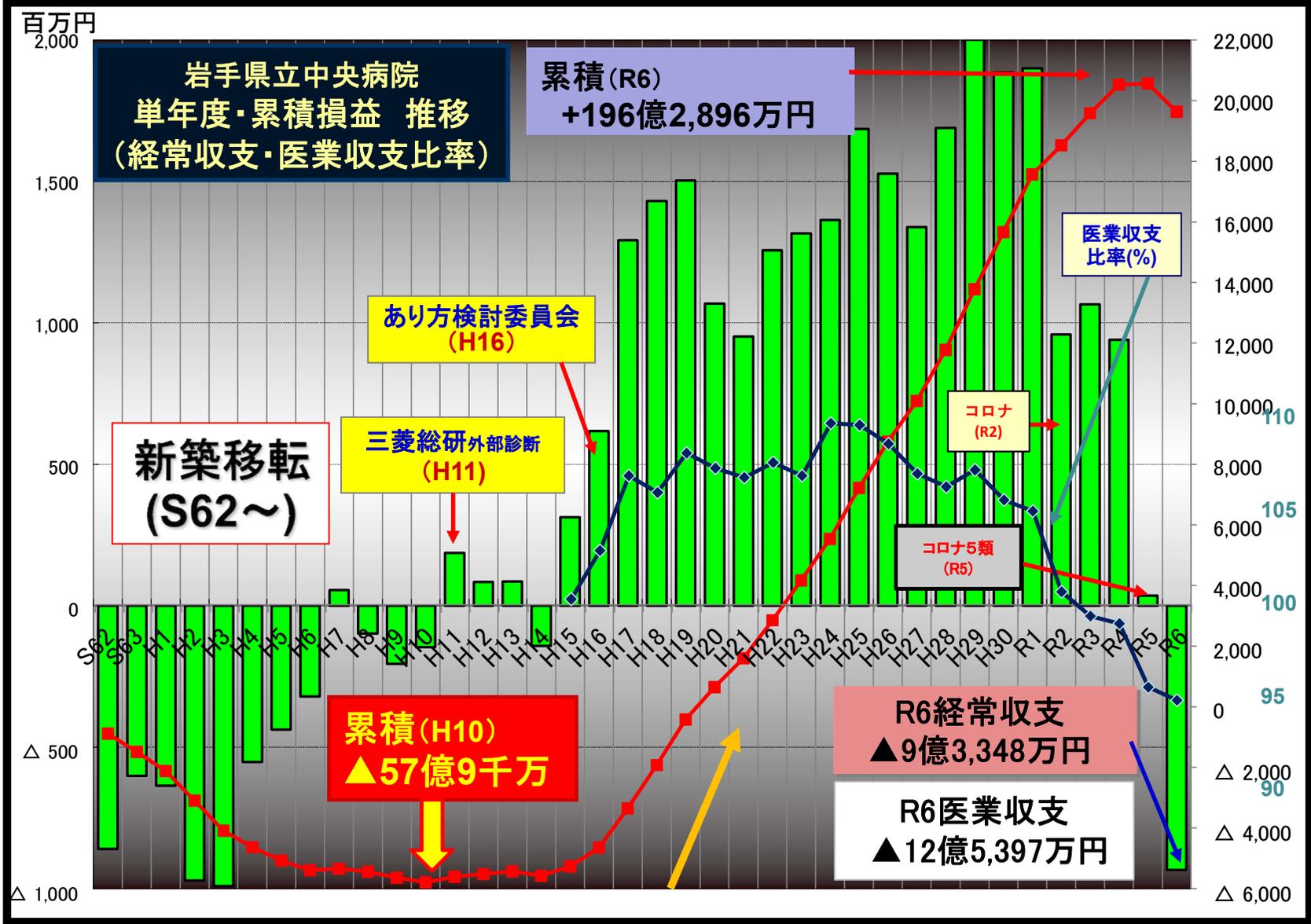
<参考> 経常損失を生じた公立病院数の割合



(出典) 「公立病院の現状と課題等について」 (総務省)

a) 「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」により厚生労働大臣又は都道府県知事が指定した病院。b) 「へき地保健医療対策実施要綱」により都道府県知事が指定している病院。c) 「災害時における医療体制の充実強化について」に定めるところにより都道府県において指定した病院。d) 当該病院から最寄りの病院までの移動距離が15km以上、又は当該病院の半径5km以内の人口が10万人未満に所在する100床以上500床未満の許可病床を有する一般病院であって、都道府県の医療計画において、二次救急医療機関又は三次救急医療機関として位置づけられ、へき地医療拠点病院又は災害拠点病院の指定を受けている病院。e) 「救急医療対策実施要綱」に規定された救命救急センター、高度救命救急センター及びそれらを併設する病院。

出典: 全国自治体病院協議会 会員病院の令和6年度決算状況調査の結果(概要)



# 経営改善＝現在の最重要課題

## **2024.4月～：経営改善プロジェクト開始（2週間毎／毎回1時間）**

副院長（リーダー）、業務企画室、医事経営課、医療情報管理室、総務・管財係、  
地域連携室、看護部（部長、次長）、本庁経営管理課

\* 事務部門は若手も参加

グループワーキング形式で経営改善につながると思われるテーマをディスカッション

## **2024.5月～：経営改善推進委員会再開（毎月1回）**

院長（委員長）、副院長、事務長、看護部長、薬剤科長、栄養管理科長、リハ  
ビリ科長、臨床工学技師長、放射線技師長、事務各部門代表

院長を委員長とする会議。経営改善取り組みの経過や成果を確認

# 令和7年度の経営状況について（本院のみ）

（単位：千円、税込）

			11月末実績		比較増減	
			令和7年度(A)	令和6年度(B)	A-B=C	C/B(%)
患者数	入院（人）	累計	128,284	120,811	7,473	6
		一日平均	526	495	31	6
	外来（人）	累計	169,629	172,296	△ 2,667	△ 2
		一日平均	1,034	1,038	△ 4	△ 0
病床利用率（%）	一般	77	72	4.5	—	
患者1人1日	入院	86,296	85,210	1,086	1	
平均収益（円）	外来	26,099	27,427	△ 1,328	△ 5	
1 医業収益			15,759,868	15,207,533	552,335	4
収益	(1)入院収益		11,111,203	10,254,139	857,064	8
	(2)外来収益		4,428,347	4,718,745	△ 290,398	△ 6
	(3)その他医業収益		220,318	234,649	△ 14,331	△ 6
	2 医業外収益		408,284	359,064	49,220	14
	3 特別収益		0	0	0	#DIV/0!
	収益合計		16,168,152	15,566,597	601,555	4
	(うち一般会計繰入金)		0	0	0	#DIV/0!
1 医業費用			15,457,257	15,472,257	△ 15,000	△ 0
費用	(1)給与費		6,813,750	6,610,818	202,932	3
	(2)材料費		5,981,075	6,300,697	△ 319,622	△ 5
	(うち薬品費)		3,400,484	3,642,494	△ 242,010	△ 7
	(うち診療材料費)		2,478,980	2,556,077	△ 77,097	△ 3
	(3)経費		1,946,709	1,946,590	119	0
	(4)減価償却費		651,289	532,455	118,834	22
	(5)その他の医業費用		64,434	81,697	△ 17,263	△ 21
	2 医業外費用		31,305	25,214	6,091	24
	(うち支払利息)		29,725	23,702	6,023	25
	3 特別損失		0	0	0	#DIV/0!
4 共通管理費		0	0	0	#DIV/0!	
費用合計		15,488,562	15,497,471	△ 8,909	△ 0	
差引損益			679,590	69,126	610,464	883

■ 令和7年度11月末時点の収支は、前年度と比べ**6億1千万円の改善**。

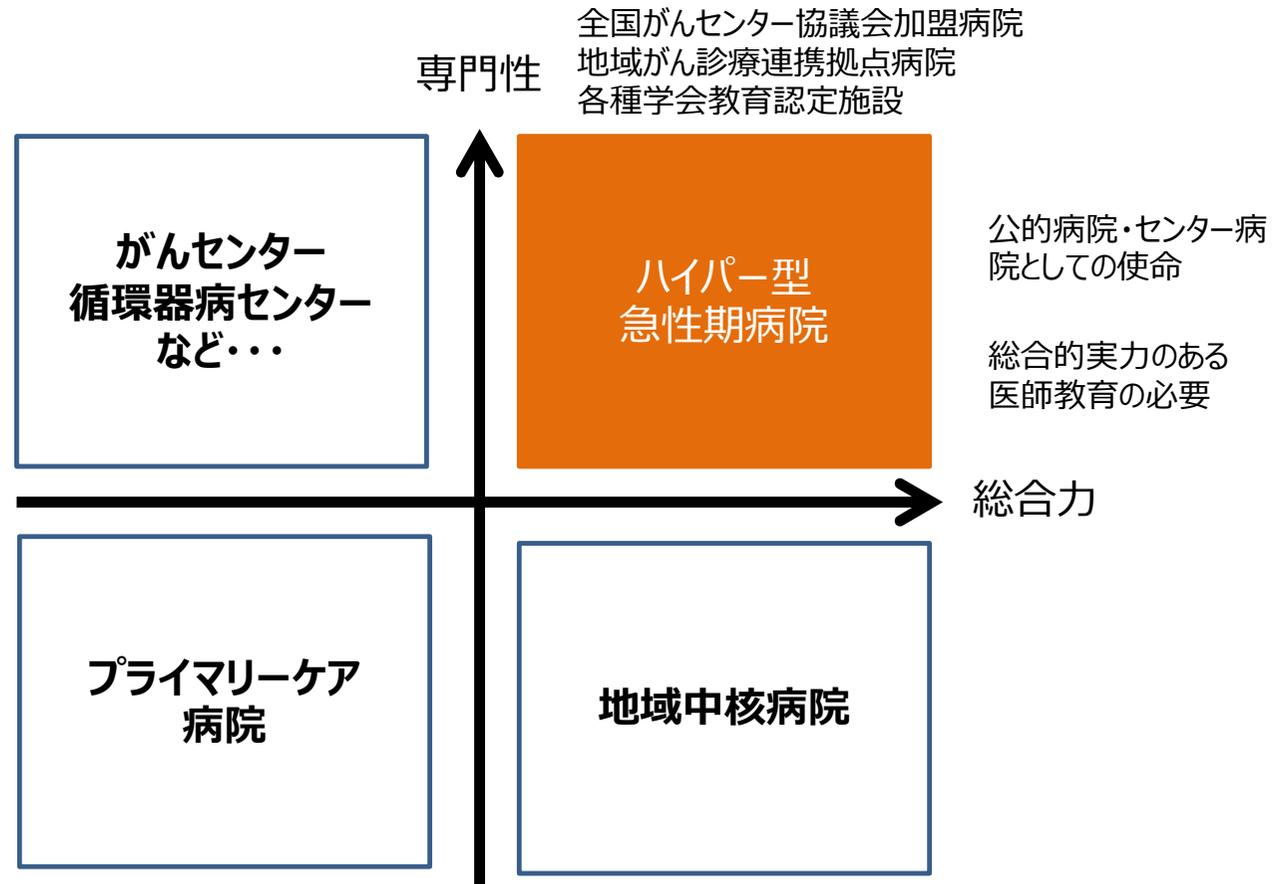
■ 入院期間内における各種指導の強化や在院日数の適正化による**入院収益の増や材料費等の費用削減**によるもの。

■ 直近11月の平均**入院患者数は、575.2人/日（病床稼働率83.9%）**。

■ 決算見込みは**1億円の赤字**。

■ 今後も、前方連携体制の強化や**医療の質向上を図るとともに、経営改善**に向けて病院一体となって取り組んでいく。

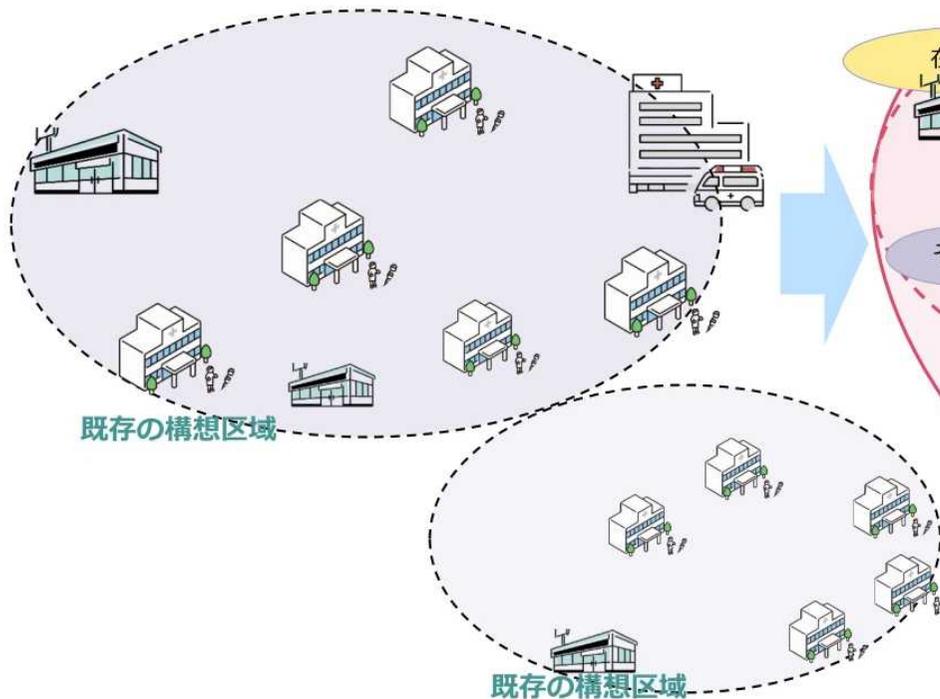
# 当院の位置づけ



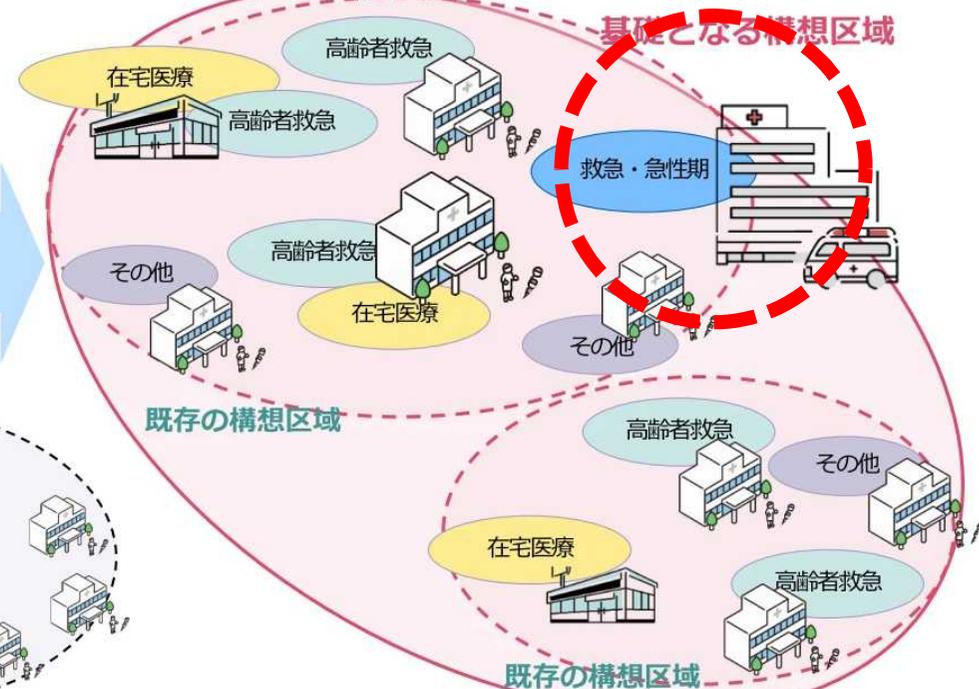
## 2040年に求められる基礎となる構想区域（イメージ）（案）

- 2040年頃を見据えると、人口規模が20万人未満の構想区域等、医療需要の変化や医療従事者の確保、医療機関の維持等の観点から医療提供体制上の課題がある場合には、必要に応じて構想区域を拡大するとともに、地域の実情に応じて、地域ごとに、【高齢者救急の受け皿となり、地域への復帰を目指す機能】、【在宅医療を提供し、地域の生活を支える機能】、【救急医療等の急性期の医療を広く提供する機能】（必要に応じて圏域を拡大して対応）を確保することが考えられるのではないかと。
- 地域によっては、回復期リハビリテーションや一部の診療科に特化した医療機関等が【その他地域を支える機能】を発揮する。

これまでのイメージ



2040年におけるイメージ



その他：専門医療の提供等を通じ、地域を支える機能

# 岩手県保健医療計画 (2024—2029)

県保健医療計画で設定された9つの二次保健医療圏ごとに、**基幹病院**を設置。



中央病院・・・  
がん医療については、  
6医療圏の拠点となる  
ことを求められている

がん(5圏域)



# 当院で行われている高度医療の例

- **生体腎移植**

腎臓リウマチ科、泌尿器科、消化器外科の3科合同

- **ハイブリッド手術室**

- ・ TAVI（経カテーテル大動脈弁置換術）： 循環器内科、（心臓血管外科）

- ・ 脳血管内治療： 脳神経外科、脳神経内科

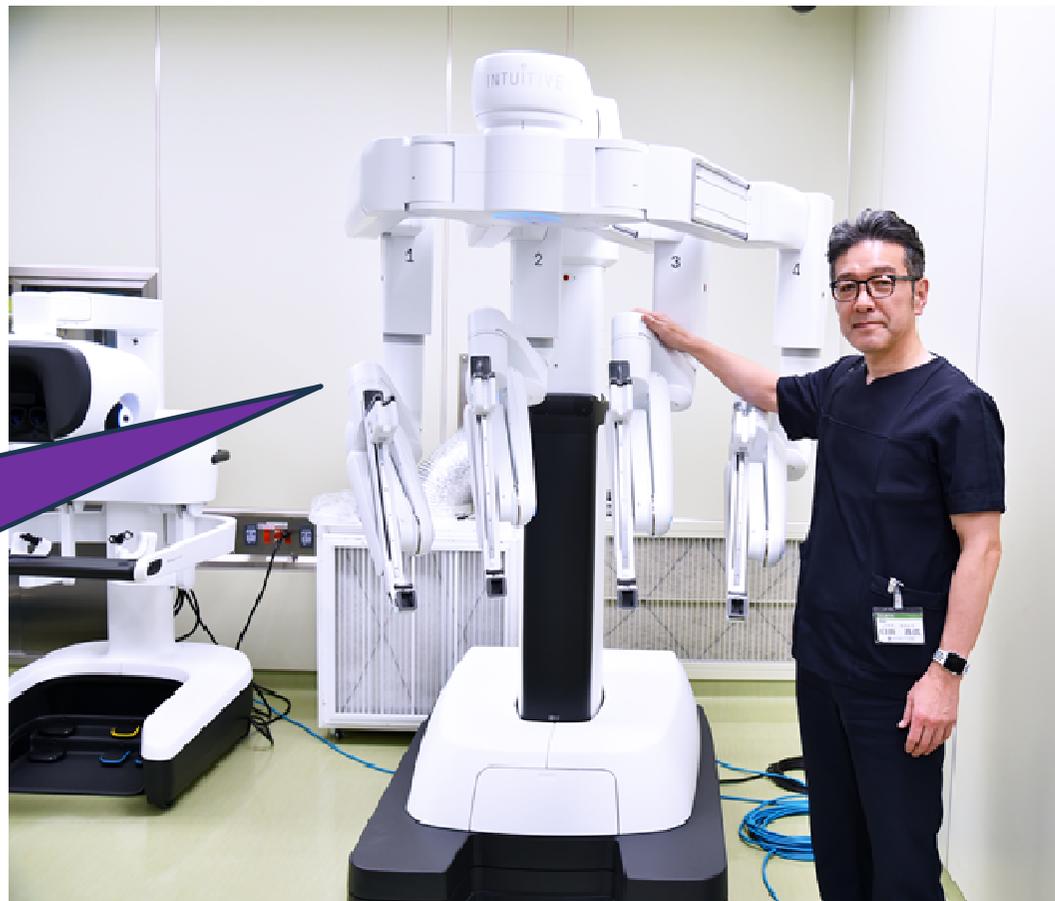
- ・ EVAR/TEVAR（ステントグラフト内挿術）： 心臓血管外科

- **ロボット手術（今年度導入予定）**

泌尿器科、消化器外科、呼吸器外科、婦人科

# 医学の進歩・医療技術の革新

～ 手術支援ロボット「Da Vinci 5」導入 ～  
安全で低侵襲な手術の未来形

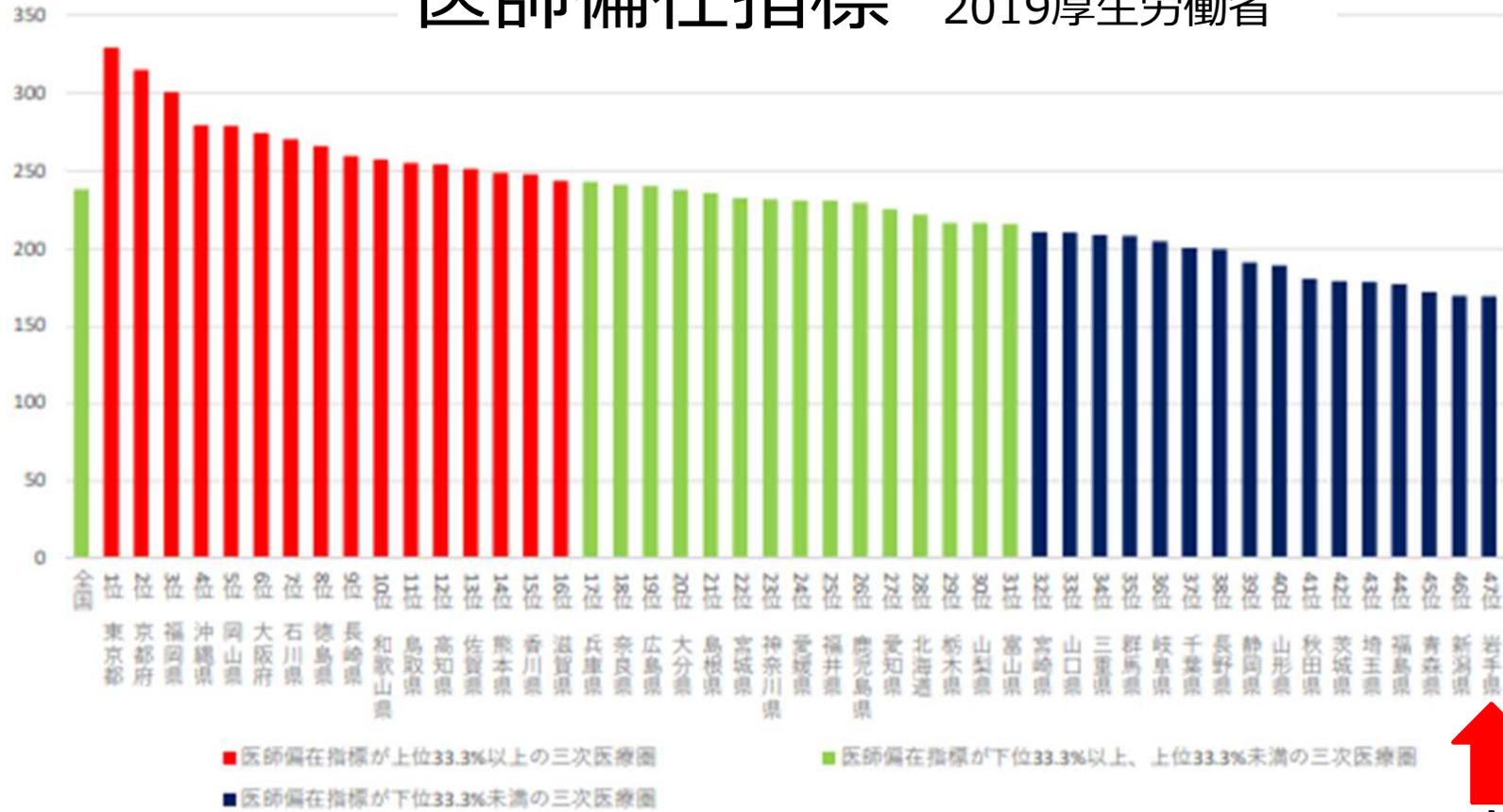


最新機  
Da Vinci 5 !!

東北で2番目  
岩手県内初導入

※ 持続可能な経営基盤を確立しつつ、最新の医療技術を積極的に導入し、県民の期待に応えられる「高度急性期病院」を目指す。

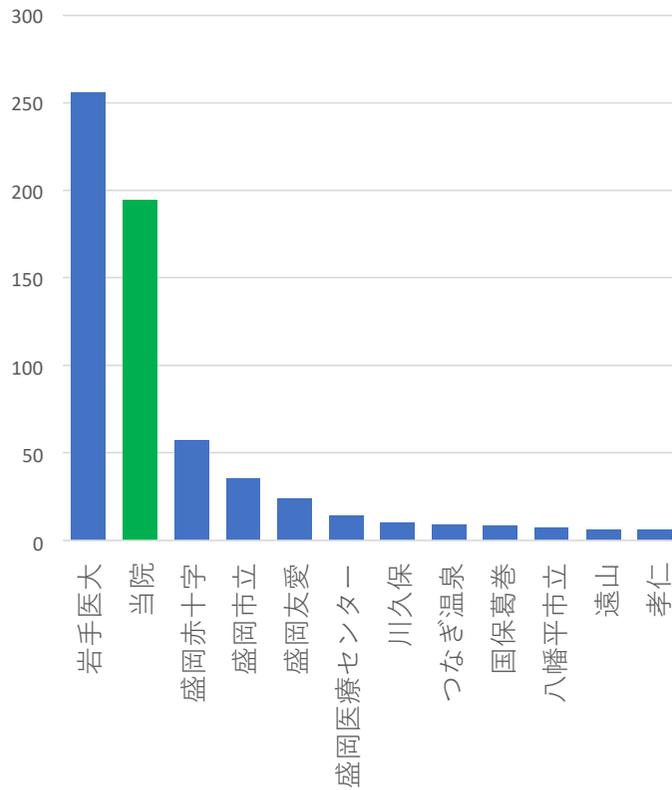
# 医師偏在指標 2019厚生労働省



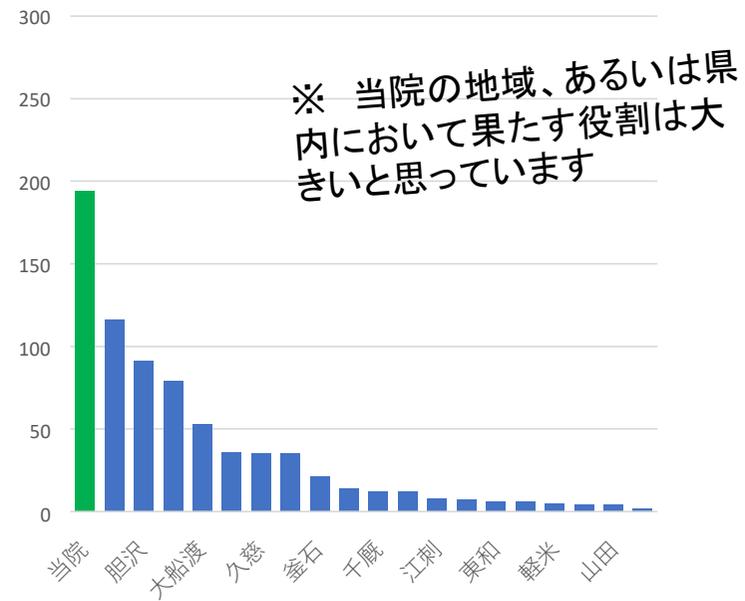
↑ 岩手県

# 岩手県内医療機関 常勤医師数

## 盛岡二次医療圏



## 岩手県立病院群



病院情報局

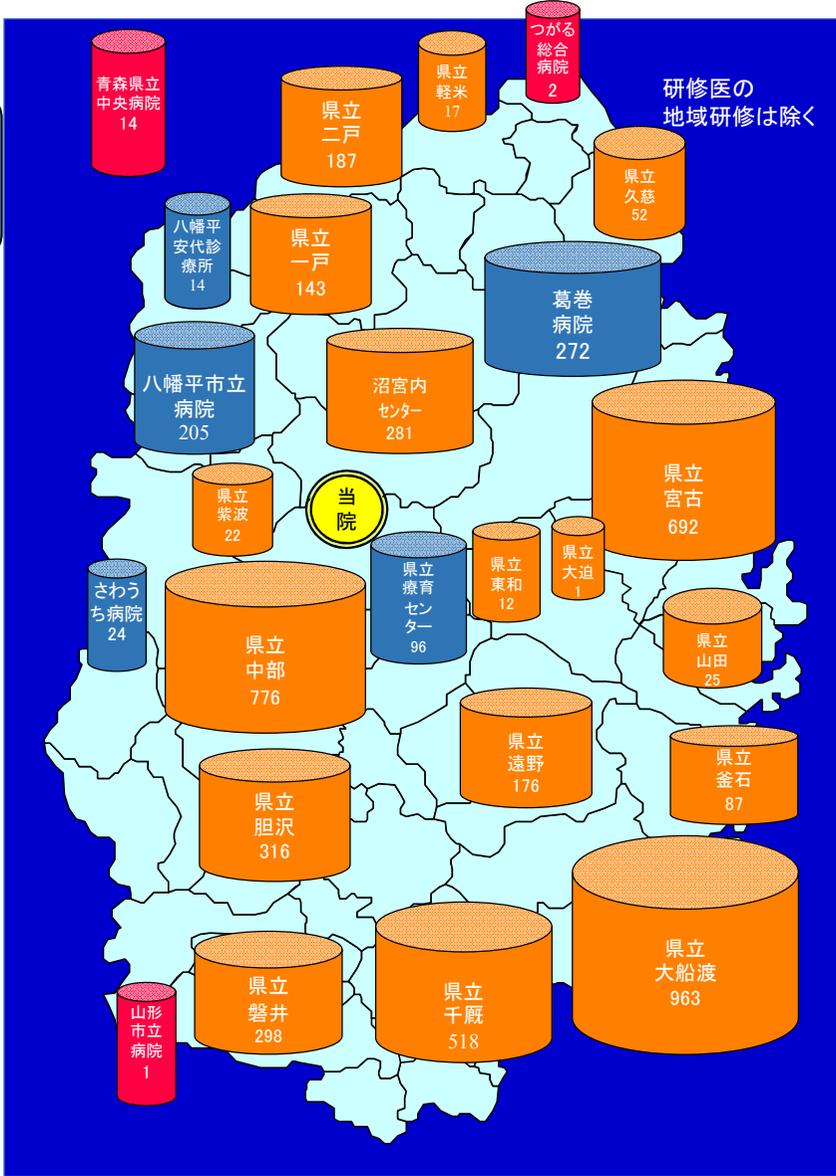
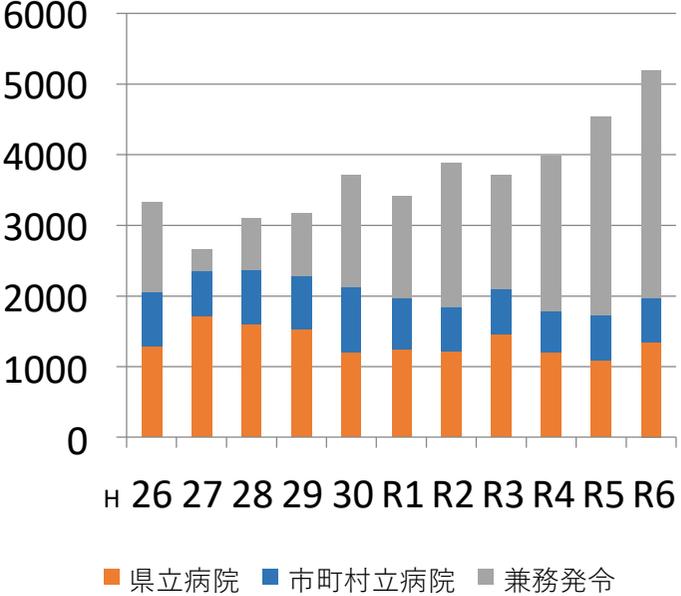
<https://hospia.jp/>

より(2023.6.30アクセス)

# 岩手県立中央病院の診療応援 年5,194回（令和6年度）

一日平均約**14**人の医師が不在になる。

## 年度推移



岩手県立中央病院

全科協力型救急体制

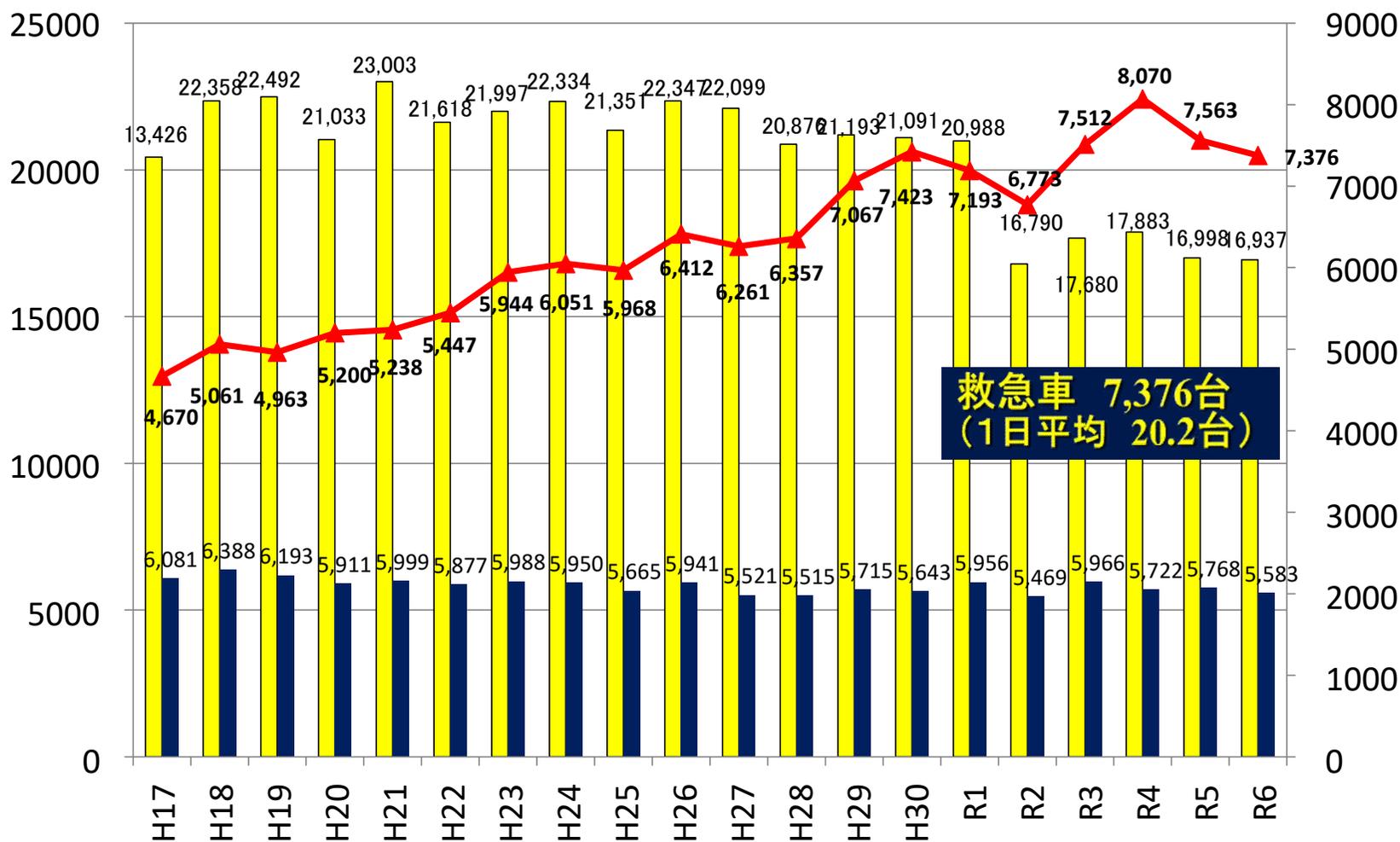
# 救急医療受入推移

；当直医7名+ICU当直、+小児輪番担当医

救急患者数

救急入院数

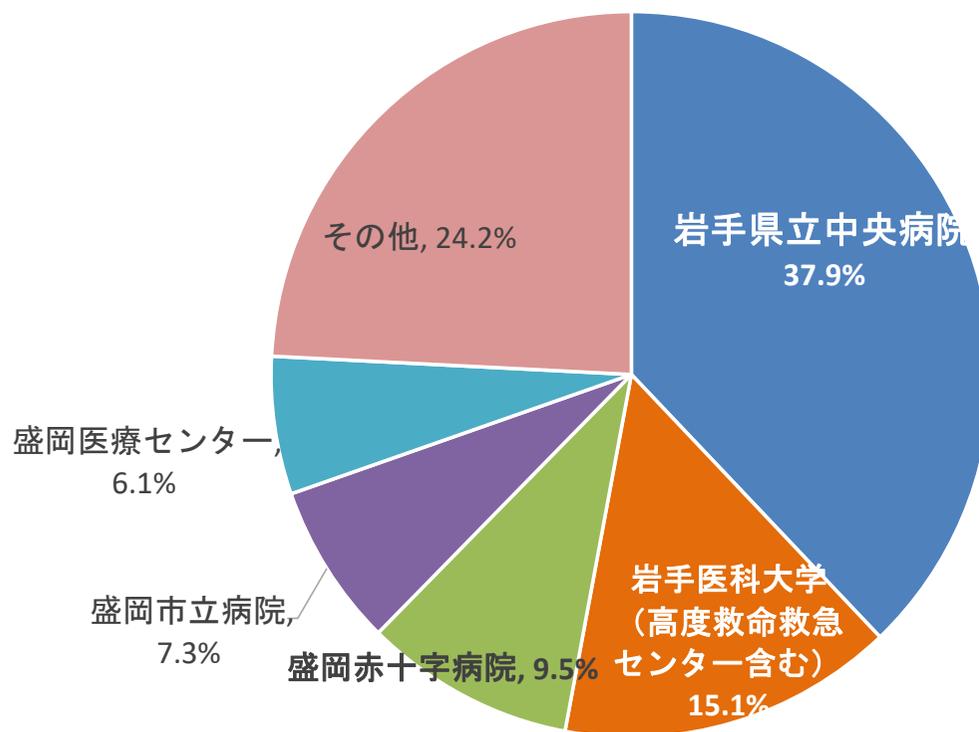
救急車搬入件数



盛岡消防本部統計

# 救急車搬送先内訳

(2024年4月～2025年3月 救急車19,132件/年の搬送)



# 2021年度よりER病棟新設 2022年度より救命救急センターとして認可



10床(うち2床個室)

# 2025年の振り返り

## ● 急性期病院における危機的な経営状況

### － [現在の経営環境]

医療の高度化や物価高騰により、人件費や高度医療機器の導入・維持等にかかる費用が、近年大幅に増加している。一方で、高度医療に対する診療報酬の評価が十分とは言えず、収支のバランスが取りづらい状況が続いている。

### － [取組]

経営改善に向けた多様な取り組みを継続的に実施することで、経営基盤の安定と強化を図ってきた。

同時に「急性期拠点機能」病院として、最先端医療技術の導入を積極的に行う必要がある。

## ● 医療の効率化、医療DX

### － マイナ保険証、電子処方箋、RPA活用等すすめてきた

ご清聴いただきありがとうございました

